

## 「あま市行政改革大綱（素案）」に関する意見募集（パブリックコメント）の結果について

- 1 募集期間 : 平成23年1月10日（月）から平成23年2月9日（水）まで
- 2 提出通数 : 1通（提出方法 窓口提出）
- 3 意見総数 : 5件（※一人の方で複数の意見を寄せられたものを含む。）
- 4 意見の内訳 : ①「財政の健全化」に関する意見（1件）  
 ②「事務事業の見直し」に関する意見（2件）  
 ③「組織・機構の見直し」に関する意見（1件）  
 ④「人材育成と職員の意識改革」に関する意見（1件）

※下表の「分類」に記載されている数字は、上記「意見の内訳」に記載されている数字と整合する。

分類	ご意見等	回答
①	類似事業、行事等は部局を越え一本化して行い、経費の削減を図る。	個別取組項目「事務事業の見直し」を設定し、来年度より徹底した見直しを図っていきます。
②	補助金対象団体の実態把握と精査をし、有名無実的な団体は廃止とし、真に市や市民の為に活動している団体には充実させる。また、活動報告や補助金の使途の報告義務化。	補助金等の交付を受けようとする者は、原則として交付申請書及び事業計画書などを提出しなければならず、提出された書類を精査し、その内容が適当と判断された場合に交付決定しています。また、事業が完了等した場合には、実績報告書の提出を義務付けているところであり、交付団体の実態や当該補助金の使途は把握しているところです。 しかし、補助金の原資が市民からの貴重な税金であるという点を鑑みると、更に公正かつ効率的な補助金の使用に努めなければならないところです。については、大綱策定以後、補助金等のあり方について、全庁的に見直しをしています。
②	随意契約の見直し、入札制度の適正化を望む。	個別取組項目「入札の見直し」及び「随意契約の見直し」を設定し、来年度より徹底した見直しを図っていきます。
③	職員の給与は、旧3町体制のまま聞くが本当か。仮に旧体制を続ければ格差が広がり差別になる。職員に不満が生まれ勤労意欲が低下し職員間の協調も活力も薄れ、延いては市の発展を妨げる要因になる。あま市として統一給与体制でスタートすべきと思う。併せて人件費の抑制を望む。	合併により、あま市では給与体系は統一しております。しかし、旧3町での昇格等の運用により同じ年代、経験年数により個々の職員について差異があることは認識しております。 今後は、あま市の給与制度の下で勤務評定等を適確に運用することにより、是正を図っていきたいと考えております。 また、人件費の抑制につきましては、定員適正化計画を策定し、計画的に取り組んでまいります。
④	平成22年11月24日（水）開催の第2回委員会で配付された「資料2」中、6ページの「人材育成基本方針策定に係る職員アンケート調査の実施」「あま市の現状と課題」に人事の不公平や不満感が読み取れる。早急に是正し職員の勤労意欲を高めなければ意識改革もままならない。市長並びに人事部局の的確な評価判断が望まれる。	職員の意欲を高める人事管理については、より効果的な仕組みを検討し構築してまいります。このため本年度、勤務評定を実施し、今後の昇任管理や人事異動に活用していきたいと考えています。